

「学校自己評価」についての意見等（関係者による評価）

- 年々、時流に合わせた柔軟い対応がなされ、指導内容が一層充実してきています。カリキュラムの更なる多様化をはじめ、安心・安全への取り組み、地域との交流や校外活動の拡充等、時代の変化に対応した、的確かつきめ細やかな指導が行われています。また、私達の在学中には考えられなかったほど、多種多様な発表の機会が生徒に与えられており、これは彼らの成長にとって非常に喜ばしい事です。生徒一人一人が、伝統ある武蔵野の精神を継承しつつ「これからの時代を生き抜く柔軟性」を身に付けられる教育が実践されている、と感じました。
- 今までの日常を少しずつ取り戻していく生活が始まり、学校の取組みや行事も充実してきていることを学校自己評価から知ることができました。また昨年度は、私の勤務校で高校生による音楽鑑賞会を行って頂きました。小学校の教科書をもとにプログラムを作成して頂き、児童たちも学んだ音楽を生演奏で聴くことのできる貴重な機会を得ることができました。演出は高校生から提案されたものだと聞き、互いのキャリア教育としても有意義なものであったと思います。異校種の交流もたくさん取り入れ、更に学校がご活躍することを願います。今年度もありがとうございます。
- 学習活動では個別のレッスンや早朝放課後の練習室の開放などで実技の向上が見られたと思います。学芸的行事では日頃の成果を発揮する機会が沢山あり学習意欲に繋がっていると思います。鑑賞行事がたくさんあり他の分野の芸術や音楽に触れることができる貴重な経験ができたと思います。講座については本校に入学を希望する学生に対して受験の準備をするにあたりとても充実した内容になっていると感じました。
- 存分に音楽へ向き合える環境で高校生活を送ることができ、大変充実しているようです。演奏の機会も多く頂いたことで常に目標を明確に持ち、有意義な時間を過ごせていると思います。
- 意見について：
  - ・スクールバスの運行の時間を授業時間に合わせて臨機応変にして頂きたい。決まった時間の運行の為、生徒が居ないのに運行している時や、生徒が居るのにバスが無いというのは改善頂きたい。
  - ・大学の教授と生徒の間に高校側ももっと入って頂きたい。レッスンが上手くいっているのか、きちんとレッスンが行われているのか、先生と生徒の関係が上手くいっているのか等、附属高校であるのに大学と高校の繋がりが薄い様に感じる。また、高校生が制服を着用しているのにも関わらず大学の校舎に登校する時に入場出来ず困ることが多く、また、高校側から大学への連絡も上手く繋がっていない事が度々あった。